

平成30年12月19日

静岡県知事 川勝平太 様

ふじのくに県民クラブ  
会 長 岡本 護

## 平成31年度予算編成に対する提言

最近の国際情勢、特に米中による貿易摩擦などの懸念は県内の輸出関連企業の業績に与える影響が大きく、ようやく回復基調にある県内経済にとって不安材料となっています。また、県内の有効求人倍率は高水準を維持しておりますが、中小企業や一部の業界では人手不足が慢性化しており、民間企業の経営は余談を許さない状況にあります。

今年には全国各地で地震や台風といった自然災害や災害に起因する大規模停電が発生しました。県民の安全安心を確保するためにも、限られた予算の中で地震・津波や豪雨災害対策の推進が求められています。

さらに来年はいよいよラグビーワールドカップの開催年、東京2020オリンピック・パラリンピックまで1年という大事な年となり、準備も大詰めとなりました。これらビッグイベントの成功に向け、全庁を上げて取り組んできたことを確実に実行し、本県の発展につなげて頂きたいと思っております。

このほか、老朽化した社会資本の整備、高齢化に伴う社会保障費の増加、人口減少に起因する歳入の減少等、財政のかじ取りはますます難しい局面を迎えます。このような中、来年度当初予算編成にあたっては、政策的経費等について従来の財政課が調整する方式でなく部局ごとに枠配分する方式が採用され、各部局長のマネジメントによって精査された事業が計上されることになりました。予算計上の機会を通じて部局内での事業検証や必要性の議論が活発に行われることを期待します。

いよいよ来年から年号が変わり、新しい時代が始まります。今年からスタートした静岡県の新ビジョンに描かれた日本の理想郷“ふじのくに”を確かなものとするため、来年度予算策定にあたっては財政規律を担保しつつも、戦略的な課題に果敢に挑戦する様子が見えるような予算編成として頂きたく、ふじのくに県民クラブとして以下の内容を提言いたします。